

七十五年前の戦争

読谷小学校 六年一組 金城 純桜

ぼくたちは、今幸せに暮らせています。でも、七十五年前ではおそろしい戦争がおきました。

まず、ぼくが新聞を読んで分かった事は沖縄戦から今年で七十五年経ったことと米運のかくばくだんにより約二千人の人が殺されたという事です。

次に、ぼくが疑問に思ったことはなぜ関係のない人々がおびえながら二千人の人が米運に殺されなければならなかったのかです。

殺すなら、日本兵だけでもよかったです。なにせ日本兵でもない一ぱん人がたくさん殺されたのかという所が疑問に思いました。

次に、ぼくが考えさせられた事はなぜ話し合えばいいことを戦争でか^んいけつしなければならなかったのかです。

うまく関係がとれな^かったからといって戦争までおこす必要があったのか、もつとち^や

んと話し合えば戦争までおこさなくてよかつたという所はぼくたち日本やアメリカのあやまちかなあと思つたのでこれから二度と戦争のないようにここはしつかり考えたいです。

次にぼくが分かつたことは、チビチリがマでは入り口付近にばくだんがおとされてそのえいきょうで岩がくずれにげていた人がしたじきにされて多くの命がうばわれました。

シムクがマでは、ハワイがえりの人二人が米運に「日本兵はここにはいないよ安全だから」と言つてなつとくさせたあと米運はここをさつていつたのでシムクがマでは多くの命が二人によつて助かりました。

ぼくはこの話を聞いてとても感動しました。なぜかというところ、二人のえいゆうのおかげでいっぱいの命がすくわれたのでこの話を聞いて心があつたまりました。

感想今ぼくたちは、とつてもゆうふくに暮らしています。

このことをしつかり感射してくり返さない

ように学んだことを忘れないで。ぜひに
なひさんなおそろしい戦争をなくしたいです。
これからも、平和をたもってあげたいです。
感謝しどの国も仲良くしていきたいです。
そのためにも、ぼくだけじゃなく、みんなに
も伝えて、努カして行きたいです。
平和を者がっています。